



2 星空のつどい

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

講師から星座や星の解説を受けた後、屋上で天体望遠鏡などを用いて星や星座の観察をします。

1 ねらい

星座や星を観察しながら、地球をとりまく宇宙の構造や季節との関係について学びます。
(小学校 理科 中学校 理科)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 屋上・野外 200人程度、大ホール 180人以内、
自然観察室 40人以内、小ホール 40人以内
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～1時間30分

3 職員の支援について

外部講師を依頼することができます。職員が活動支援に入ることはありません。

4 準備物

| 区分 | 準備物 | 備考 |
|------|---|---------------------------------------|
| 団体 | ※講師を依頼した場合、講師料1名につき5,000円 | ※80名以上の団体は、講師が2名体制となります。 |
| 個人 | ・防寒着、防寒具 | ※種差は夏でも冷えます。 |
| 自然の家 | ・星座早見盤 ・天体望遠鏡 ・フィールドスコープ ・液晶プロジェクター ・懐中電灯 ※講師から星座プリントが配付される場合あり。 | ・120枚 ・4台 ・10台 ・1台 ・屋外解説用 |

5 引率者の役割分担

| 係名 | 役割 |
|--------|------------------|
| 代表責任者 | ・講師を依頼した場合、講師対応。 |
| 天体望遠鏡係 | ・1台につき1名必要。 |

6 活動の流れ

- ① 防寒着を持って大ホールに集合
- ② PCソフトなどを使った星空の解説
- ③ 屋上へ移動し、天体望遠鏡で観察
- ④ 大ホールへ移動し、まとめ

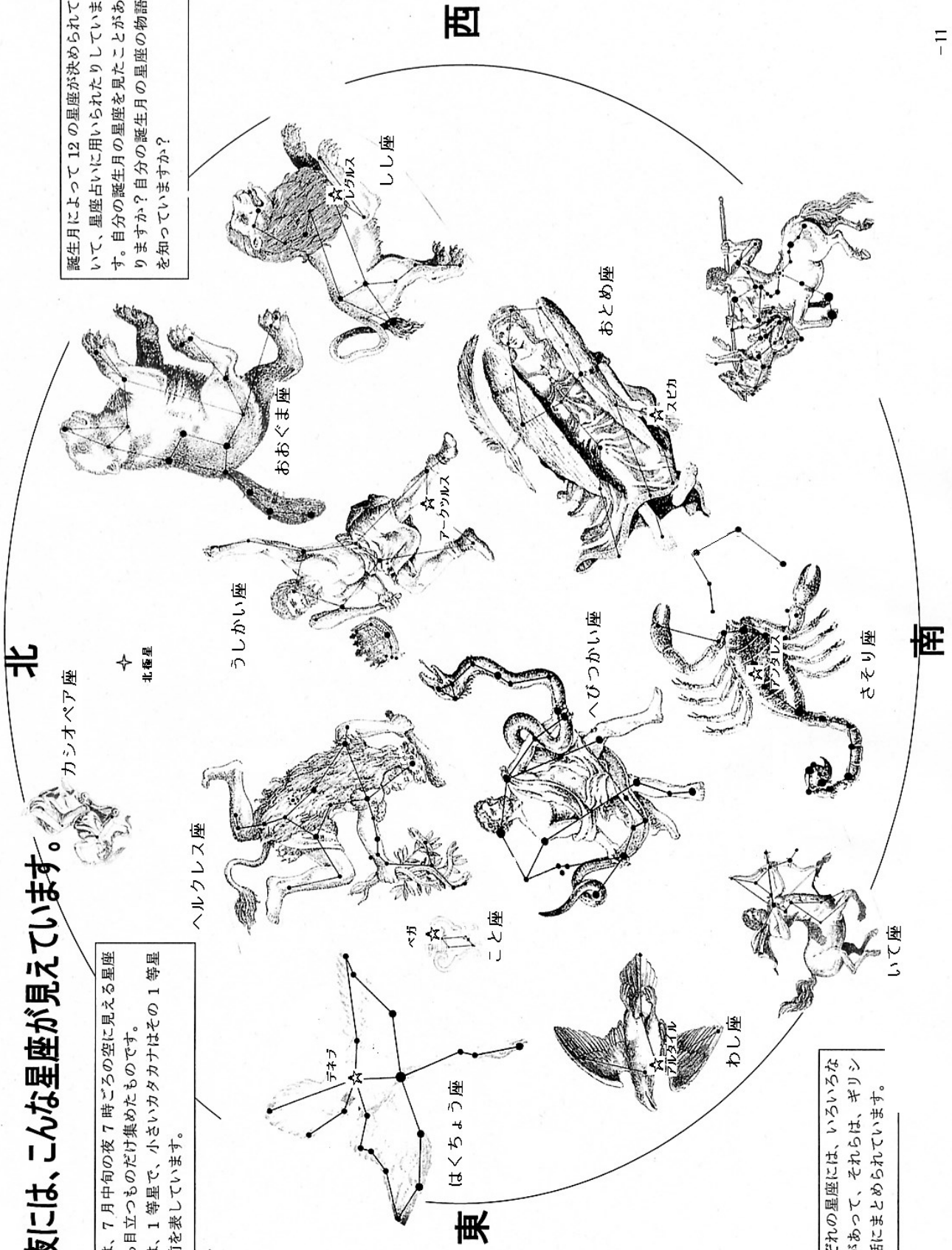
7 その他

- ・ 5月～7月上旬は海霧と梅雨のため、屋上での観測ができないことがあります。
- ・ 講師を依頼した場合は、曇天でもビデオやPC画像等を使用しての実施となりますので、プログラムの変更はできません。
- ・ 80名以上の団体は講師が2名となります。(講師料は合計1万円となります)

夏の夜には、こんな星座が見えています。

これは、7月中旬の夜7時ごろの空に見える星座のうち目立つものだけ集めたものです。
 ☆印は、1等星で、小さいカタカナはその1等星の名前を表しています。

誕生月によって12の星座が決められていて、星座占いに用いられたりしています。自分の誕生月の星座を見てくださいか？自分の誕生月の星座の物語を知っていますか？



それぞれの星座には、いろいろな物語があって、それらは、ギリシヤ神話にまとめられています。